

古典B

平成31年度シラバス

沖縄県立北中城高等学校

--	--	--	--

教科名	国語	科目名	古典B	学 年	2	単位数	2	年間時数	70
使用教科書名		「新編古典B」(東京書籍)							
副教材名		古語辞典、漢和辞典							
学習の到達目標		古典としての古文・漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。							

○評価の観点、及び内容、方法

評価の観点	関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
評価の内容	古典を読んで人間、社会、自然などに対する思想や感情などを的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとしている。	古典を読んで人間、社会、自然などに対する思想や感情などを的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。	古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解している。
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の観察(学習活動への参加姿勢や態度) ・記述の確認(ノート, ワークシート) 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の観察(活動における発言内容) ・記述の確認(ノート, ワークシート) 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の観察(活動における発言内容) ・記述の確認(ノート, ワークシート)

学 期	月	時 数	単元名 単元目標	教材名	学習内容 【言語】-単元で取り上げる言語活動	主な評価規準の具体例 【関】→関心・意欲・態度 【読】-読む／【知】-知識・理解 〈評価方法〉—学習指導要領の指導事項
1	4	1	1 復習 ▼語句の意味、文法、句法に関する理解を深めよう。		○語彙・文法・句法総復習プリント (古語、用言活用、再読文字・返読文字など)	【知】 古典の語句の意味・用法、古文の文法・漢文の句法、文の構造を理解している。〈記述の確認〉 —ア
		4	2 説話に親しむ ▼古文の読み方を確認しよう。 ▼説話を読み、その展開や内容のおもしろさを味わおう。	宇治拾遺物語 小野篁, 広才のこと	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物、できごとを把握する。 ・篁が帝の質問に答えるのを憚った理由を考える。 ・帝が篁を疑い、そして、許すに至ったのはなぜかを読み取る。 	【関】 登場人物や場面、状況を読み取り、理解しようとしている。 【読】 登場人物や場面、できごと、心情の変化を読み取っている。〈記述の確認〉 【知】 歴史的仮名遣いや古語について理解し、古語辞典を活用し、適切に現代語訳している。〈行動の観察／記述の確認〉 —ア・イ・ウ
	5	2 故事と小話 ▼漢文の読み方を確認しよう。	小話一五編 知音	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文に頻出する語彙や句法に注意しながら訓読し、現代語訳する。 ・伯牙が「破琴絶絃」した理由と、伯牙と鐘子期との関係について考える。 	【関】 登場人物や場面、状況を読み取り、理解しようとしている。 【読】 できごとと登場人物の心情を読み取っている。〈記述の確認〉	

1	6	▼話の展開や内容のおもしろさを味わおう。			[知] 漢文に頻出する語彙の読みと意味や句法を確認しつつ訓読し、現代語訳している。〈行動の観察／記述の確認〉 ーア・イ・ウ	
			断腸	・漢文に頻出する語彙や句法に注意しながら訓読し、現代語訳する。 ・話の内容を読み取り、桓公が怒った理由を考える。	[読] できごとと登場人物の心情を読み取っている。〈記述の確認〉 [知] 漢文に頻出する語彙の読みと意味や句法を確認しつつ訓読し、現代語訳している。〈行動の観察／記述の確認〉 ーア・イ・ウ	
		2物語を読む ▼物語を読み、古文に親しもう。 ▼物語の内容を叙述に即して読み取ろう。	竹取物語 天の羽衣 ■古文の窓① 月と暦、そして古典	・中学校で学習した『竹取物語』の内容について話し合い、確認する。 ・かぐや姫の心情と、その変化について読み取る。 ・天人と人間との相違はどのように描かれているかを考える。 ・昔の人の生活における月の重要性と、文学作品で月が重要な役割を果たしていたことを知る。	[読] [関] 登場人物や、できごと、心情を読み取っている。〈記述の確認〉 [知] 古語について理解し、古語辞典を活用しながら適切に現代語訳している。〈行動の観察／記述の確認〉 ーア・イ・ウ [知] 古典における月の重要性を理解している。〈行動の観察／記述の確認〉 ーア・イ・ウ・エ	
		5	3唐詩と文 ▼漢詩や文章を読み、簡潔で含蓄のある表現を味わおう。 ▼豊かな诗情や明確な主張を読み取ろう。	唐詩 ー 九首 宿建德江・鹿柴・秋風引・静夜思・碩中作・楓橋夜泊・登岳陽樓・登高・香炉峰下、等 桃花源記	・語彙や句法に注意しながら訓読し、それぞれの詩がどのようなことや心情を表現しているかを読み取り、味わう。 ・それぞれの詩に対句があれば指摘し、その表現効果について考える。 ・それぞれの詩の詩形・押韻を確認する。 ・語彙や句法に注意しながら訓読し、あらすじを読み取り、まとめる。 ・「桃花源」の村の様子と、どのような住民であるかを読み取り、作者はどのようなことを言いたいのかを把握する。	[読] [関] それぞれの詩がどのようなことや心情を表現しているかを読み取り、味わっている。〈行動の観察／記述の確認〉 [知] 漢詩文に頻出する語彙の読みと意味、および、句法・詩形・押韻を確認しつつ訓読し、現代語訳している。〈行動の観察／記述の確認〉 ーア・イ・ウ・エ [読] [関] あらすじと「桃花源」の村の様子と、住民について読み取り、作者の主張を把握する。〈行動の観察／記述の確認〉 [知] 漢文に頻出する語彙の読みと意味や句法を確認しつつ訓読し、現代語訳している。〈行動の観察／記述の確認〉 ーア・イ・ウ
		3	4随筆を読む ▼随筆を読み、作者のものの見方や考え方を知ろう。 ▼作者の考え方について話し合い、理解を深めよう。	丹波に出雲といふ所あり	・通読し、どこでどのようなことがあったのかを読み取る。 ・参詣した人たちの狛犬をめぐる心情と、その変化を読み取る。	[読] [関] 場所やできごと、登場人物の心情と変化を読み取っている。〈行動の観察／記述の確認〉 [知] 古語について理解し、古語辞典を活用し、適切に現代語訳している。〈行動の観察／記述の確認〉 ーア・イ・ウ
	1	▼語句の意味、文法、句法に関する理解を深めよう。		○語彙・文法・句法確認プリント (古語、助動詞、使役形・受身形など)	[知] [関] 古典の語句の意味・用法、古文の文法・漢文の句法、文の構造を理解している。〈記述の確認〉 ーア	
	2	8 9	4和歌の世界 ▼人々に親しまれてきた和歌を読み味わい、鑑賞しよう。	小倉百人一首の世界 『小倉百人一首』より	・鑑賞文を参考にして、それぞれの和歌を読み味わう。 ・挙げられた八首の和歌から好きな歌1首を選び、その歌の意味や読まれた状況などを調べ、鑑賞文を書く。	[読] [関] それぞれの和歌を読み味わうことができている。〈行動の観察／記述の確認〉 [知] 古語や和歌の修辞について理解し、古語辞典を活用し、適切に現代語訳している。〈行動の観察／記述の確認〉 ーア・イ・ウ・オ

10	6	●言語活動2 和歌を読み比べる	・「歌合」の形式について知る。(課題) ・同じテーマの歌二首を選び、鑑賞・批評し、歌合の形式で討論する。	[読] 同じテーマの好きな和歌二首を選び、鑑賞・批評し、歌合の形式に沿って討論することができる。(行動の観察)		
		3 史記を読む ▼史記を読み、歴史上の人物の行動や心情について考えよう。 ▼登場人物の生き方を通して、歴史のおもしろさを味わおう。	項羽と劉邦 四面楚歌 ・訓読し、登場人物と場面を読み取る。 ・「楚歌」が項王を驚かせた理由を考える。 ・項王の詩にうたわれている心情を読み取る。	[読] [関] できごとと項王の心情を読み取っている。(行動の観察/記述の確認) [知] 漢文に頻出する語彙の読みと意味や句法を確認しつつ訓読し、現代語訳している。(行動の観察/記述の確認) ア・イ・ウ		
	6	4 寓話を読む ▼寓話を読み、ものの見方や考え方を深めよう。 ▼人間や政治についての、古代中国のさまざまな考え方を読み取ろう。	寓話 一 五編 出藍誉 ・句法に注意しつつ訓読し、内容のおおよそを読み取る。 ・ここに記されているいくつかのたとえは、それぞれどのようなことを言おうとしているのかを読み取る。 ・この文章で筆者は、人はどうあるべきだと言っているのかを考える。	[読] [関] 記されているいくつかのたとえの暗示することと、筆者の主張とを読み取っている。(行動の観察/記述の確認) [知] 漢文に頻出する語彙の読みと意味や句法を確認しつつ訓読し、現代語訳している。(行動の観察/記述の確認) ア・イ・ウ・オ		
		塞翁馬 ・句法に注意しつつ訓読し、内容のおおよそを読み取る ・「塞翁」の身に起こった「禍」と「福」を順番に整理する。 ・「塞翁が馬」という故事成語はどのように使われるかを考える。	[読] [関] 「塞翁」の身に起こった「禍」と「福」から、この故事の意味することを読み取る。 [知] 漢文に頻出する語彙の読みと意味や句法を確認しつつ訓読し、現代語訳している。(行動の観察/記述の確認) ア・イ・ウ・オ			
	6	5 日記を読む ▼日記を読み、作者のものの見方、感じ方を知ろう。 ▼作者の境遇を確かめながら、その心情を理解しよう。	土佐日記 馬のはなむけ ・当時の月日や時刻の呼び方を確認する。 ・どのような旅であるかを読み取り、「京まで」ではなく「和泉国まで」と記している理由について考える。 ・この作品は誰のどのようなことについて、どのような人の立場から書かれているかを読み取る。	[読] [関] どのような旅について記されているかを読み取っている。(行動の観察/記述の確認) [知] 古語について理解し、古語辞典を活用し、適切に現代語訳している。また執筆した作者の意図、文学史的位置について読み取り、理解している。(行動の観察/記述の確認) ア・イ・ウ・エ		
		更級日記 門出 ・作者はどこで、どのような生活をし、どのようなことを思っていたのかを読み取る。 ・起こったできごとと、その時の作者の心情を読み取る。	[読] [関] 作者の生い立ちの様子と心情を読み取っている。(行動の観察/記述の確認) [知] 古語について理解し、古語辞典を活用し、適切に現代語訳している。(行動の観察/記述の確認) ア・イ・ウ			
	2	▼語句の意味、文法、句法に関する理解を深めよう。	○語彙・文法・句法確認・復習プリント(古語、助動詞・敬語、疑問・反語形、詠嘆形など)	[知] 古典の語句の意味・用法、古文の文法・漢文の句法、文の構造を理解している。(記述の確認) ア		
	3	1	7	6 軍記物語を味わう ▼軍記物語を読み、登場人物の生き方について読み	平家物語 壇の浦の合戦 ・軍記物語らしい表現を味わいながら音読し、この戦いの推移を読み取る。 ・教経と知盛は、それぞれどのような人物として描かれているかをまとめる。 ・戦いの様子と、戦いが終わった後の情	[読] [関] 戦いの様子、教経と知盛の人物像を読み取り、戦いが終わった後の情景について感想を持っている。(行動の観察/記述の確認) [知] 古語について理解し、古語辞典を活用

			取ろう。		景描写について、感想を持ち話し合う。	し、適切に現代語訳している。(行動の観察／記述の確認) ーア・イ・ウ
2	7	5 三国志の世界	▼史話を読み、歴史のおもしろさを味わおう。 ▼登場人物の性格や心情を読み取り、人間のあり方について考えよう。	十八史略 水魚之交	・句法に注意しつつ訓読し、登場人物と内容のおおよそを読み取る。 ・諸葛亮の劉備への献策を読み取り、まとめる。 ・劉備は諸葛亮をどのようにとらえ、どのような心情をもったかを読み取る。	【読】【関】 諸葛亮の人物像と献策、および、劉備の亮に対する心情を読み取っている。(行動の観察／記述の確認) 【知】 漢文に頻出する語彙の読みと意味や句法を確認しつつ訓読し、現代語訳している。(行動の観察／記述の確認 ーア・イ・ウ)
				死諸葛走生仲達	・句法に注意しつつ訓読し、できごとを読み取り、諸葛亮の意図と司馬懿の対応を読み取り、二人の人物像について考える。	【読】【関】 諸葛亮・司馬懿の意図と対応から、人物像について考える。(行動の観察／記述の確認) 【知】 漢文に頻出する語彙の読みと意味や句法を確認しつつ訓読し、現代語訳している。(行動の観察／記述の確認) ーア・イ・ウ
3	5	7 近世の紀行	▼紀行を読み、作者が旅に込めた思いについて考えよう。 ▼それぞれの文章に詠まれた句を読み味わい、鑑賞しよう。	奥の細道 漂泊の思ひ	・対句的表現に注意しながら音読し、韻文的なリズムに気づく。 ・「旅」と関連づけている事柄に注意し、「旅」に対する作者の思いを読み取る。 ・「草の戸も」の句に込められた作者の思いを考える。	【読】【関】 作者の「旅」への思いと旅立つ準備をする時の心情を読み取っている。(行動の観察／記述の確認) 【知】 古語や発句について理解し、古語辞典を活用し、適切に現代語訳している。(行動の観察／記述の確認) ーア・イ・ウ・オ
				旅立ち	・いよいよ旅立つ時の作者の様子と心情を読み取り、「行く春や」の句に込められた思いを読み取る。 ・「行く道なほ進まず」の理由を考える。	【読】【関】 旅立ちの時を迎えた作者の様子と心情を読み取っている。(行動の観察／記述の確認) 【知】 古語や発句を理解し、適切に現代語訳した。(行動の観察／記述の確認) ーア・イ・ウ

【年間における学習状況の評価法】

- ・古文・漢文の両分野において、基本的な語句や文法を理解しているか、文章に表れた思想や心情を的確にとらえられたか、各自の考え方や感じ方を豊かにすることができたかといった観点から学習状況の評価します。定期考査、提出物・週末課題等の成績を総合し、1年間の成績とします。
- ・それぞれの学習状況を「関心・意欲・態度」、「読む能力」、「知識・理解」3つの観点から評価します。

【確かな学力を身につけるためのアドバイス】

- ・2学年における「古典 B」は、「国語総合」の古典の学習で習得した基礎力を発展させる科目です。よって古典 B では、文法や句法といった基礎的な知識をもとに様々な作品を読み進め、古文・漢文の読解力を高めていきます。
- ・古文読解の基礎である文語文法、古文韻文の技巧、漢文読解の基礎である句法などを確実に理解するためには、予習や新しく習ったことを定着させるための復習を行うことが重要となります。
- ・漢字や語句について日頃から関心を持ち、不明な点や疑問点はすぐ古語辞典・漢和辞典で調べる習慣をつけましょう。

【授業を受けるに当たって守ってほしいこと】

- ・教科書・ノート・ファイルを常に用意し、板書内容あるいは重要事項、注意事項を忘れずに書き込むようにしましょう。
- ・授業と並行して家庭学習で週末課題や夏休み・冬休み課題に取り組みましょう。課題などの提出日は厳守して下さい。講座にも参加しましょう。
- ・意見や考えを発表する場面では、間違いを恐れず積極的に発言してください。主体的に学習することで、より古典の理解や関心が深まります。